

社会的認証報告書（科目認証制度）

（科目区分：「政策基礎としての社会人基礎力」）

科目名：伏見 CBL 演習 I	担当者：井上 芳恵
科目グループ：なし	

※科目区分が「政策得意分野づくり」の場合に記載されます。

基準項目	評価要素	コメント・評価	評価
基準 1-1	・ 科目を設置する目的として、明確な教育目標と育成する人材像を説明しているか。	科目説明書より地域公共政策士の学習アウトカムを踏まえた具体的な教育目標、人材像が説明されていることを確認した。	A
	・ 当機構が定める学習アウトカムの定義から、学習アウトカムの定義が定められているか。	科目説明書より地域公共政策士の学習アウトカムの定義から学習アウトカムが設定されていることを確認した。	A
基準 2-1	・ 学習アウトカム達成の視点から科目で実施する教育内容について説明されているか。	科目説明書より、京都市伏見区をフィールドとし、「伏見ふれあいプラザ（区民祭り）」への参加、企画、立案等をつうじて対象地域の課題把握やコミュニケーションの機会を確保した教育内容であることを確認し、学習アウトカムを踏まえた具体的な教育内容について説明されていることを確認した。	A
	・ 教育要素の科目要件に沿って具体的な教育内容が説明されているか（基準 2-2 の科目内容と合わせて評価する）。 ・ 科目別の評価要素 教育内容に関する評価目安として、教育要素に基づく科目要件の確認項目のうち、1 項目の欠損で指摘事項、2 項目の欠損で改善勧告、3 項目の欠損で保留とする。 ・ 学習者による現場での主体的な教育内容が含まれているか。 ・ 教育のなかで、チームビルディングやリーダーシップ、コーディネート能力、コミュニケーション力を発揮する工夫がなされているか。 ・ 地域政策を踏まえて、政策問題を把握し、問題解決を試みる工夫がなされているか。 ・ 学習アウトカム評価に関する設問が適切に設定されているか。	「政策基礎としての社会人基礎力」の教育要素に対して、フィールド調査や地域での会議や地域活動への参加を通じて、学習者のリーダーシップやコーディネート能力、コミュニケーション能力を発揮する機会や地域課題を把握する機会が設定されている。また、「伏見ふれあいプラザ（区民祭り）」の企画立案をつうじて学習者が課題解決を試みる機会も設定されており、「政策基礎としての社会人基礎力」にふさわしい教育内容であることを確認した。 また、科目シラバスでは具体的な連携団体について言及されており、科目の受講をつうじてセクター、組織、年代を超えた地域社会の主体のあり方が学べるよう設計されている点は評価すべき点である。	A
基準 2-2	・ 科目の教育内容について、時系列にそった説明ができていないか。	科目説明書及び添付資料より、科目の教育内容について、時系列に沿った説明がされていることを確認した。	A

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科目の教育内容を踏まえて、学習アウトカムの自己評価に関する設問が適切に作成されているか。 	科目に設定した学習アウトカムと科目内容を踏まえた具体的な設問が設定されていることを確認した。	A
基準 2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習アウトカムの達成という視点から授業形式について説明されているか。 	科目説明書及び添付資料より、これまでに確認した科目内容に対応した講義形式が説明されていることを確認した。	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業形式と科目担当者の資質が説明されているか。 	科目説明書及び基礎データより、講義内容と科目担当者の専門性が一致していることを確認した。	A
基準 2-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象とする学習者が想定されているか。 	科目説明書及び添付資料（資料①）より、科目の対象者を明確に定めていることを確認した。	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 想定した学習者に対応した開講形態がとられているか。 	科目説明書及び添付資料（資料①）より、上記の対象者に対応した開講形態がとられていることを確認した。	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者が科目を受講する手続きについて説明がされているか。 	科目説明書及び添付資料（資料②）より、科目受講者の登録方法などの手続きが定められていることを確認した。	A
基準 3-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価の基準と方法を定めているか。 	科目説明書及び添付資料（資料①）より、成績評価の基準と方法が定められていることを確認した。	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価の基準と方法を明文化して学習者に周知する方法が定められているか。 	添付資料シラバスに、成績評価方法が明示され周知されていることを確認した。	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績証明書等の発行方法が定められているか。 	科目説明書及び添付資料（資料②）より成績証明者の発行方法が定められていることを確認した。	A
基準 3-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議申立の仕組みが明文化されているか。 	科目説明書及び添付資料（資料②・③）より、異議申し立てのしくみを明文化していることを確認した。	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議申立の制度は、公正な判断を保證できる仕組みとなっているか。 	科目説明書及び添付資料（資料②・③）より確認した異議申し立てのしくみは、第三者性を確保しており公正な判断を担保したしくみであることを確認した。	A
基準 4-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科目を継続的に管理・運営する体制が整えられているか。 ・ 管理・運営する体制の中で、科目を点検し、改善する仕組みが説明されているか。 	科目説明書より、龍谷大学政策学部にて科目を運用し、改善をはかっていく仕組みであることを確認した。	A

評価区分：AAA：基準を満たし、実施機関の特色を活かした優れた取り組みが実施されている。AA：準を満たし、優れた取り組みが実施されている。A：基準を満たしている。B：概ね基準を満たしているが、部分的な指摘内容がある（指摘事項に相当する点がある）。BB：部分的に基準を満たしているが、改善すべき内容がある（改善勧告に相当する点がある）。BBB：基準を満たしていない（保留に相当する内容がある）。

認証結果

評価結果	適合
認証期間	2018年4月1日～2025年3月31日
科目認証番号	K180010
指摘事項	
勧告事項	
評価すべき点	シラバスによると「伏見ふれあいぷらざ（区民祭り）」の企画立案と参加にむけて、京都府立すばる高校、NPO 法人深草、龍谷コミュニティなど多様な主体との連携が設定されており、科目の受講を通じてセクターを超えた連携とその実践が体験できる内容となっている。
助言・課題	地域プロジェクトと連携し、そのイベントでリーダーシップやコーディネート能力等を発揮する現場が用意されている点は大変有意義でしたが、一方でどのように教育をして学習者がリーダーシップやコーディネート能力を発揮するのかが不明確でした。科目を運用していく中での工夫に期待しています。

以上